

日本珪藻学会第34回研究集会プログラム

期 日：2014年11月8日（土）・9日（日）

会 場：滋賀県立琵琶湖博物館（滋賀県草津市下物町1091）セミナー室

学会会長：真山茂樹

集会会長：大塚泰介

第1日 11月8日（土）

12:00 受付開始

12:50 開会：学会会長・集会会長挨拶

《口頭発表1》

【座長 出井雅彦】

12:55 (1) 海産付着珪藻 *Terpsinoe americana* の殻微細構造について

○松岡孝典・南雲 保（日本歯大・生物）

13:10 (2) 日本沿岸の砂地に生育するメガネケイソウ科 Pleurosigmataceae の形態学的研究

○原 陽太¹・鈴木秀和¹・松岡孝典²・南雲 保²・田中次郎¹（¹東京海洋大・院・藻類，²日本歯大・生物）

13:25 (3) 海産管棲珪藻の形態と分類

○宮内麻由美¹・鈴木秀和¹・松岡孝典²・藤田大介³・南雲 保²・田中次郎¹（¹東京海洋大・院・藻類，²日本歯大・生物，³東京海洋大・院・応用藻類）

【座長 真山茂樹】

13:40 (4) 千葉県産テングサ類の付着珪藻相

○ト部隼太¹・鈴木秀和¹・南雲 保²・田中次郎¹（¹東京海洋大・藻類，²日本歯大・生物）

13:55 (5) 千葉県産褐藻ヘラヤハズの付着珪藻相

○西尾さゆり¹・鈴木秀和¹・南雲 保²・田中次郎¹（¹東京海洋大・藻類，²日本歯大・生物）

14:10 (6) 北太平洋産イワシクジラに付着する珪藻類

○加藤孝一朗¹・鈴木秀和²・田村 力³・藤瀬良弘³・南雲 保⁴・加藤秀弘¹（¹東京海洋大・鯨類研，²東京海洋大・藻類，³（一財）日本鯨類研究所，⁴日本歯大・生物）

14:25 (7) 南大洋インド洋セクターにおける海氷中の珪藻相

○滝本彩佳¹・鈴木秀和¹・小島本葉²・茂木正人^{3,4}・小達恒夫^{2,4}・南雲 保⁵・田中次郎¹（¹東京海洋大・院・藻類，²総研大，³東京海洋大・海洋生物，⁴極地研，⁵日歯大・生物）

14:40 休憩

《ポスター発表》

【進行 佐藤晋也】

14:50 (8) 滋賀県多賀町四手の古琵琶湖層群から産出した珪藻化石

○富 小由紀¹・大塚泰介²・堂満華子¹・林 竜馬²・里口保文²・多賀町古代ゾウ発掘プロジェクトメンバー（¹滋賀県大，²琵琶湖博物館）

14:55 (9) 山室湿原（滋賀県米原市）の珪藻

○三村武士・大塚泰介（たんさいぼうの会）

15:00 (10) 中池見湿地（福井県敦賀市）の珪藻

○木原靖郎・石井千津・津田久美子・石角江里佳・大塚泰介（たんさいぼうの会）

- 15:05 (11) Naviculoid 珪藻の条線の傾斜角分布について
○有田重彦・大塚泰介 (たんさいぼうの会)
- 15:10 (12) アマモに付着した *Climacosphenia moniligera* の柄の中に群生する *Navicula*
○溝渕 綾・半田信司 (広島県環境保健協会)
- 15:15 (13) やな川 (福岡県糸島郡) の珪藻
○堺 眞砂美¹・西田千尋², 岡本茉那美², 川上満泰², 天田 啓² (¹福岡工大・総合研究機構, ²福岡工大・生命環境)
- 15:20 (14) 珪藻の遺伝子解析
○西田千尋¹・堺 眞砂美²・天田 啓¹ (¹福岡工大・院・生命環境, ²福岡工大・総合研究機構)
- 15:25 (15) 国際珪藻学会 2014 報告ー私の見た珪藻研究の最前線
○中村憲章・真山茂樹 (東京学芸大)
- 15:30 質疑・フリーディスカッション
- 15:45 写真撮影・休憩

《口頭発表 2》

【座長 鈴木秀和】

- 16:00 (16) The screening of diatoms in some hot springs in the northern of Thailand between wet and dry season
○Supattira PRUETIWORANAN¹, Shigeki MAYAMA², Chayakorn PUMAS¹ & Jeeraporn PEKKOH¹
(¹Department of Biology, Faculty of Science, Chiang Mai University, ²Department of Biology, Tokyo Gakugei University)
- 16:15 (17) 砂付着珪藻の付着量と砂粒性質の関係
中村裕子 (東京学芸大)
- 16:30 (18) 群体珪藻 *Hydrosera* と *Pleurosira* の増殖に対する塩分の影響
○一柳昌史¹・鈴木秀和¹・出井雅彦²・南雲 保³・田中次郎¹ (¹東京海洋大・院・藻類, ²文教大学・教育, ³日本歯大・生物)
- 16:45 (19) *Navicula platyventris* F.Meister の細胞増殖と形態観察
○神菊拓也・真山茂樹 (東京学芸大)
- 17:00 (20) 珪藻のハプロイド単為発生
佐藤晋也 (福井県大)

【座長 納谷友規】

- 17:15 (21) 珪藻殻の鉱物学的特性の予察的研究
○千葉 崇¹・横大路美帆¹・山本真里子²・興野 純¹・辻 彰洋³ (¹筑波大, ²名古屋大, ³国立科学博物館)
- 17:30 (22) 珪藻分析を用いた伊勢平野中部における完新世中期以降の古環境復元
○佐藤善輝¹・小野映介²・河角龍典³ (¹産総研, ²新潟大, ³立命館大学)
- 17:45 (23) 山形県庄内の事件層中の珪藻解析
○今野 進¹・山野井 徹² (¹九州大・院・理, ²山形大学)
- 18:00 (24) 後期中新世の海成堆積物から見つかった *Mesodictyon* 属に含まれる淡水生の化石珪藻種
○柳沢幸夫¹・田中宏之² (¹産総研・地質, ²前橋珪藻研究所)
- 18:30 懇親会 (ミュージアムレストラン にほのうみ)

第2日 11月9日(日)

《シンポジウム 珪藻の過去と現在をつなぐ》

【座長 辻 彰洋】

- 9:00 (25) 地質時代の浅海性沿岸珪藻相の解明とその意義
納谷友規 (産総研・地質情報)
- 9:20 (26) 海産 *Basal Navicula* からの *Navicula sensu stricto* の進化を系統と形態分布から考える
真山茂樹 (東京学芸大)
- 9:40 (27) 環境指標種群による古環境復元の現状と課題
○千葉 崇¹・澤井祐紀² (¹筑波大, ²産総研)
- 10:00 (28) 珪藻類休眠期細胞研究の現状と展望
著者: 石井健一郎¹・大塚泰介²・神川龍馬¹・石川 輝³・今井一郎⁴・宮下英明¹ (¹京都大・地球環境, ²琵琶湖博物館, ³三重大・院・生物資源, ⁴北大・院・水産)
- 10:20 休憩
- 10:30 (29) 土に埋もれた珪藻から古環境を探る
森 勇一 (金城学院大)
- 10:50 (30) 古琵琶湖層群伊賀層から見出された *Stephanodiscus* 属珪藻
○田中宏之 (前橋珪藻研究所)・南雲 保 (日本歯科大・生物)
- 11:10 (31) 琵琶湖における珪藻の形態学的進化速度について
○齋藤めぐみ・谷村好洋 (国立科学博物館)・森 忍 (元名古屋大)
- 11:30 (32) スズキケイソウ (*Praestephanos suzukii*) と近縁属の分子系統
辻 彰洋 (国立科学博物館)
- 11:50 学会会長・集会会長挨拶
- 12:00 閉会
- 13:30 琵琶湖博物館 展示室案内 (15:30 終了)

【座長 大塚泰介】